

『流山市文化協会創立50周年の思い出』

創立50周年記念事業実行委員長 佐久間 進

流山市文化協会の理事に就任したのは平成9年5月の総代会でした。議案の審議が終了後、各部門からホール建設の要望がだされ、突然、私に「市のホール建設計画はどのようになっているのか」と説明が求められました。私が市の企画部に在籍した関係からの指名でした。当時、市の総合計画ではホールの建設計画は計上されておらず、常磐新線沿線まちづくり事業の一環である区画整理審議会の設立が優先されており、当面、ホール建設計画はむずかしい状況でした。



それから20年、文化会館の開館から50年、長年、皆様が希望していた文化ホール建設の夢が実を結び、平成31年2月にスタートおおたかの森ホールが新設されました。私の文化協会理事の就任時からの歳月を想い、感慨を新たに致しました。

『東葛飾文化祭の思い出』

常任理事 坂本 英雄

東葛飾文化祭は平成11年（1999）に東葛飾地区の六市（野田市、柏市、我孫子市、鎌ヶ谷市、松戸市、流山市）の文化団体で企画、運営し、さわやか県民プラザを会場として始めました。毎回、芸能、展示、実演、実技部門に120団体もの参加があり、来場者も延べ2万人になります。流山市からは文化協会の加盟団体を含めて30団体以上の参加があります。

私がこの東葛飾文化祭に関わったのは、平成19年（2007）の第9回の事務局会のメンバーからでした。後に、紺野照子さん（前文化協会副会長）も加わり、活躍されました。大変だったのは、この会の会議でした。事務局会、運営委員会、実行委員会、部門会等、年間20回以上にもなりました。（現在の会議日数は削減されています）

私は書道の作品を出品していますが、同じ会場には柏市、松戸市の作品も並び、私自身の刺激にもなりました。また、美しい生け花が展示されて「書と生け花」のコラボの素晴らしさを教えて頂き、六市の絆を感じる文化祭でした。

『あとがき』

平成から令和へとバトンタッチする新しい門出に「流山市文化協会創立50周年記念誌」を刊行しました。この記念誌が歴史に残る一つの時代と重なることは、私達の日々の文化活動に花を添えると言っていいでしょう。また、皆様から寄せられた各部の歩みには会員方々の喜びや楽しみ、あるいは文字では表せない創意工夫した努力が綴られています。

時代はその時に応じてその姿を変えていきますが、後世に伝える芸術文化の精神は留まることなく生き続けます。そして、これらの伝統の灯を燃やし続けている地の歴史と風土を振り返り、この記念誌が少しでもお役に立てれば編集者としてこれに勝る喜びはありません。

終わりに、関係各位から多くの暖かい励ましとお祝いの言葉をいただき、また記念誌の作成に携わった方々に、心より感謝申し上げます。

流山市文化協会創立50周年記念誌 編集委員一同

『参考文献』	「チェック！流山のむかし」	編著 流山市立博物館
		発行 流山市教育委員会
	「流山観光ガイド」	流山市観光協会
『スケッチ画』	表紙 「流山市運動公園」	鬼頭隆氏（気ままなスケッチ画代表）
	裏表紙「利根運河の春」	
『切り絵』	「名所10選」	飯田信義氏（切り絵作家）
	(NO1, 2, 3, 4, 5, 6, 8, 9)	
『写真』	文化祭オープニングセレモニー	写真部 映像部
	文化祭会場、2020年の活動、他	
『題字』		坂本英雄（書道部）

流山市文化協会創立50周年記念誌

発刊日 令和3年1月吉日

発行者 流山市文化協会 会長 上野真由美

編集者 代表 小手辰男

委員 長谷川和子 佐久間進

山村邦尚 大塚弘子

坂本英雄 小宮陽一

関口守俊

印刷所 有限会社 アオキ

〒270-0114 流山市東初石2-195-2

電話番号 04-7155-7733